

北 陸 支 部 報

2025/1/16
第 23 号

【第18回 とやまみんなの地図作品展】



「ファボーレ 2Fそらの広場（富山市）」
（R6年11月23日～24日）



「富山市教育記念館 1Fギャラリー」
（R6年12月3日～12月24日）

目 次

年頭のご挨拶	（公社）日本測量協会北陸支部	大西支部長	・・・1
年頭のご挨拶	国土地理院北陸地方測量部	白井部長	・・・2
北陸支部役員会を開催			・・・3
「公共測量講習会（新潟会場）」を開催			・・・3
講習会開催状況			・・・4
行事等の報告			・・・6
会員の状況（令和6年12月末現在）			・・・7
令和7年度北陸支部事業計画（案）			・・・7
令和7年度北陸支部「空間情報技術事例発表会」			・・・9



公益社団法人

日本測量協会 北陸支部





年頭のご挨拶

(公社) 日本測量協会北陸支部長
大 西 宏 治



新年あけましておめでとうございます。
令和7年(2025年)の年頭にあたり、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年元日に発生した能登半島地震で被
災された皆様ならびにそのご家族の皆様
に心よりお見舞い申し上げます。1年が経
過しましたが、復旧・復興にはまだまだ時
間がかかることが予想されています。業
務として復旧・復興に取り組んでいる北
陸支部のみなさまも多数いらっしゃいま
す。改めて支部としてみなさまに寄り添
った取り組みを考えていく所存です。

さて、北陸支部の皆様方には平素から
測量系を含む地理空間情報を中心として、
多くのご支援とご協力を賜っております
ことに対し、厚く御礼を申し上げます。昨
年7月の北陸支部業務報告会は富山市の
「ホテルグランテラス富山」で開催させ
ていただきました。発表内容はすでに北
陸支部HPで公開しており、ご覧になられ
た方もいらっしゃると思います。例年、業
務報告会とあわせて「空間情報技術事例
発表会」を開催しておりますが、能登半島
地震の対応で会員のみなさまの業務がひ
っ迫していることもあり、中止とさせて
いただきました。その代わりに国土地理

院北陸地方測量部の白井部長の講演と富
山大学人文学部の学生による商店街調査
の空間解析に関して報告がなされ、参加
者のみなさんと意見交換することができ
ました。

有益な情報の交換となる「空間情報技
術事例発表会」が中止となったことは残
念でしたが、みなさまが精力的に取り組
んでいるさまざまな業務の成果が、次年
度以降の「空間情報技術事例発表会」に反
映されることを期待しております。

今年の業務報告会および空間情報技術
事例発表会は石川県において開催する予
定です。石川県の会員の皆様はもちろん
のこと、その他の支部会員のみなさまか
らの積極的な発表・聴講を期待します。日
本測量協会および北陸支部の益々の発展
と会員皆様方のご健勝とご活躍、さら
にご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭
のご挨拶とさせていただきます。

富山大学学術研究部 人文科学系教授
大西 宏治

年頭のご挨拶

北陸地方測量部長
白 井 宏 樹

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人日本測量協会北陸支部及び会員の皆様には、日頃から国土地理院の業務にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

去年は、新年早々の能登半島地震の発生により、測量設計業界におかれましては、正月返上で災害復旧業務にご尽力されたことと存じます。この度の迅速かつ的確な対応に対し深く敬意を表します。

近年、自然災害の激甚化や社会全体のデジタル化など、社会情勢・社会課題に大きな変化が続く中、測量設計業界を取り巻く環境も大きく変化しています。

測量技術の進展に伴い、測位環境が大きく向上し、さらに、新型コロナウイルス感染症を契機とした社会全体のデジタル化の加速は社会の有り様を大きく変化させ、DX の進展及び i-Construction の取組等の地理空間情報の活用拡大が進んできており、その対応力が求められていま

す。

国土地理院では、令和 6 年度から、新たな「基本測量に関する長期計画」を施行し、今後 10 年間に目指すべき施策の方向性を明確にしました。

国民が安心して豊かな生活を営むことができる経済社会を実現する上で、地理空間情報の高度活用の推進が重要であるという地理空間情報活用推進基本法の理念に則り、誰もがいつでもどこでも必要な地理空間情報を活用できる「地理空間情報高度活用社会（G 空間社会）」の実現に資する内容となっています。

引き続き、国土を「測る」「描く」「守る」「伝える」の 4 つの役割を通じて、社会の多様なニーズに応じた測量行政に取り組んでいく所存であります。

最後になりますが、貴支部の皆様には引き続きご支援・ご協力をお願いするとともに、益々のご発展と会員皆様のご多幸とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



北陸支部役員会を開催

12月20日（金）にオンラインで北陸支部役員会を開催しました。この役員会は、北陸支部の今年度事業の中間報告及び次年度の事業計画（案）の概要について役員の方々に報告し、意見を伺うものです。

ここ数年の講習会受講者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応等により受講者数が大幅に減少していましたが、今年度（11月末現在）の計画人員に対する受講者数は、1月の能登半島地震、9月の石川県能登地方での集中豪雨による災害発生、これらによる災害復旧対応等のために測量関係業務が多忙となり、講習会等の受講者が予定していた計画人員より減少傾向となりました。

北陸支部の会員状況は、令和6年11月末現在、正会員、準会員、特別会員の総数が704名となっています。ここ数年は会員総数が720人位前後で推移していましたが、令和6年3月末と比較すると4名の減少でした。講習会への参加人数が減

少したことから講習会受講時の会員への同時入会の方が少なかったためです。今後も入会していただく方が増えるように一層PR等を行っていきます。

次年度事業計画（案）は、ほぼ今年度と同様の講習会や行事等を行います。各講習会の開催地については、新潟市、富山市、金沢市、福井市に分散して実施します。

支部主催講習会は、今年度に引き続き14コースを予定しており、UAVデータを用いた講習会も4コース実施します。3月実施予定の「測量士、測量士補答案練習セミナー」は新潟市での開催になります。

業務報告会は、金沢市の石川県地場産業振興センターで7月8日（火）の開催を予定しています。業務報告会終了後、同会場で引き続き空間情報技術事例発表会も開催します。発表会は数多くの方に視聴して頂くために、同時配信で発表内容を聞いて頂くよう計画いたします。

「公共測量講習会（新潟会場）」を開催

日本測量協会測量技術センターでは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律「品確法」（平成17年制定）」、「地理空間情報活用推進基本計画（令和4年第4期策定）」を受けて、国および地方公共団体等が作成する公共測量成果の地理空間情報の基盤データとしての利活用の推進をお手伝いするため、測量計画機関の公共測量担当者を対象とした、「公共測量講習会」を毎年全国各地で開催しています。公共測量に対する理解を深めていただき、更に測量成果の品質確保を図ることを目的としています。

北陸支部では、11月7日（木）に新潟ユニゾンプラザ（新潟市）において「公共測量

講習会（新潟会場）」を開催しました

今回の講習会は、北陸地方整備局、国土地理院北陸地方測量部、新潟県の後援を頂き、新潟県内の国、地方公共団体の測量計画機関（発注者）の実務者を対象としたものです。

講習会では、北陸地方測量部長の挨拶と公共測量担当者から公共測量の手続きについて説明があり、当協会からは基準点測量、数値地形図作成と新技術の活用、公共測量成果の品質確保について説明を行いました。

測量計画機関の担当者の方々にこのような機会を通じて公共測量への理解が深まることが期待されています。

講習会開催状況（令和6年度開催分）

開催日	講習会名	会場	受講者数
【支部主催】			
4月19日	測量数学・誤差学の基礎(Web)	金沢市(石川県地場産業振興センター)	2名
5月15日 ～16日	UAV取得データを用いた写真測量と地形図作成	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	8名
6月5日	ネットワーク型RTK法による基準点測量	金沢市(石川県地場産業振興センター)	5名
7月17日	UAVを用いた空中写真測量	富山市(富山県教育文化会館)	16名
7月31日	GNSSによる基準点測量	福井市(福井県国際交流会館)	10名
8月21日	3D地形点群モデル解析基礎技術	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	10名
10月2日	UAV取得データを用いた災害地の計測と調査	金沢市(石川県地場産業振興センター)	11名
10月16日	測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	富山市(富山県教育文化会館)	15名
10月30日	三次元点群測量(Web)	金沢市(石川県地場産業振興センター)	18名
11月20日	TSによる3・4級基準点測量	富山市(富山県教育文化会館)	11名
12月4日	実務者向けセミナー～一歩進んだUAV利活用事例～(ビデオ講習会)	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	12名
12月11日	電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS水準測量	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	17名
3月3日 ～7日	測量士答案練習セミナー(Web)	富山市(測量会館)	開催予定
3月11日 ～14日	測量士補答案練習セミナー(Web)	富山市(測量会館)	開催予定
【本部主催】			
4月8日 ～14日	基準点測量A課程講習会(基準点測量コース)Web講習	富山市(測量会館)	3名
9月24日 ～27日	基準点測量A課程講習会(測量平均コース)Web講習	富山市(測量会館)	7名
5月27日 ～31日	基準点測量B課程講習会(水準測量コース)	新潟市(新潟ユニゾンプラザ)	13名

5月20日 ～24日	用地測量調査課程講習会(Ⅰコース)Web講習	富山市(測量会館)	3名
9月2日 ～6日	用地測量調査課程講習会(Ⅱコース)Web講習	富山市(測量会館)	1名
7月22日 ～26日	防災調査課程講習会Ⅰコース オンライン(リアルタイム配信方式)講習会	富山市(測量会館)	0名
11月12日 ～15日	防災調査課程講習会Ⅱコース オンライン(リアルタイム配信方式)講習会	富山市(測量会館)	1名

○「UAV取得データを用いた災害地の計測と調査」

10月2日に金沢市の「石川県地場産業振興センター」において「UAV取得データを用いた災害地の計測と調査」講習会を開催しました。

実際にUAVで取得されたデータを用いて、災害対応における災害地の撮影ポイント及び留意点、UAV取得データを用いた計測とクラウド処理、災害地の計測調査事例など実習を通じて新しい技術取得を目的とする内容です。



○「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」



10月16日に富山市の「富山県教育文化会館」において「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」を会員無料で開催しました。

このセミナーでは、広く測量・地理空間情報界で活躍されている多くの技術者に向けて最新の技術動向、技術力を生かすスキル、測量成果の品質管理などについて紹介しています。

なお、本セミナーは富山県測量設計業協会との共催です。

○「実務者向けセミナー(ビデオ講習会)」

12月4日に新潟市の「新潟ユニゾンプラザ」において「実務者向けセミナー～一歩進んだUAV利活用事例～」を会員無料で開催しました。

東京で令和6年2月6日に開催されたセミナーを収録した動画記録(ビデオ)を視聴するビデオ講習会として、新潟県測量設計業協会との共催による開催です。



○「電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS水準測量」



12月11日に新潟市の「新潟ユニゾンプラザ」において「電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS水準測量」講習会を開催しました。

GNSS測量の概要や関連する『作業規程の準則』の条項解説のほか、作業計画から始まる一連の作業工程における留意点などを説明し、実作業に役立つ内容となっています。

行事等の報告

○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会（日本測量協会北陸支部：事務局）では、11月23日（土・祝）から24日（日）まで富山市のフューチャーシティ「ファボーレ」において、「第18回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展では、今年度の応募作品の中から優秀地図作品に選ばれた9作品（小学生の部5作品、中学生の部4作品）を展示しました。

表彰式は、展示会初日の11月23日にフューチャーシティ「ファボーレ」の1階ファボーレカルチャーにて行われ、今回からは、12月3日から12月24日の間「富山県教育記念館」1Fギャラリーにおいても展示会を実施しました。

最優秀作品の「とやま地図作品研究会会長賞」には、小学生の部からは富山市立堀川小学校1年生 近岡 和真さんの作品が選出されました。近岡さんの作品は、茨城県つくば市にある国土地理院「地図と測量の科学館」にて1月に開催される「第28回全国児童生徒地図優秀作品展」に出展され、文部科学大臣賞及び国土交通大臣賞の候補作品として推薦されました。

また、中学生の部「とやま地図作品研究会会長賞」の射水市立新湊南部中学校2年生 宮川 青空さんの作品他5作品についても「第28回全国児童生徒地図優秀作品展」へ出展されました。



会員の状況（令和6年12月末現在）

区 分	6.3 末	6.12 末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	5 3 7	5 3 3	-4	233 (-7)	101 (-1)	142 (+2)	57 (+2)
準 会 員	0	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別会員	1 7 1	1 6 9	-2	80 (0)	37 (-1)	32 (-1)	20 (0)
合 計	7 0 8	7 0 2	-6	313 (-7)	138 (-2)	174 (+1)	77 (+2)

令和7年度北陸支部事業計画（案）

北 陸 支 部 主 催 講 習 会	場 所	時 期（期間）
測量数学・誤差学の基礎（Web）	富山市	4 月 （1 日間）
U A V取得データを用いた写真測量と地形図作成	富山市	5 月 （2 日間）
ネットワーク型R T K法による基準点測量	富山市	6 月 （1 日間）
U A Vを用いた空中写真測量	金沢市	7 月 （1 日間）
G N S Sによる基準点測量	金沢市	7 月 （1 日間）
3 D地形点群モデル解析基礎技術	富山市	8 月 （1 日間）
U A V取得データを用いた災害地の計測と調査	新潟市	1 0 月 （1 日間）
T Sによる3・4 級基準点測量	新潟市	1 1 月 （1 日間）
三次元点群測量（Web）	新潟市	1 1 月 （1 日間）

測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー	新潟市	12月 (1日間)
実務者向けセミナー（ビデオ講習会） ～三次元計測技術の活用～	金沢市	12月 (1日間)
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS水準測量	福井市	12月 (1日間)
測量士答案練習セミナー（Web）	新潟市	3月 (5日間)
測量士補答案練習セミナー（Web）	新潟市	3月 (4日間)
本 部 主 催 講 習 会	場 所	時 期（期間）
路線測量設計課程Ⅰコース（Web講習）	富山市	5月 (4日間)
基準点測量A課程 測量平均コース（Web講習）	富山市	7月 (4日間)
基準点測量A課程 測地論コース（Web講習）	富山市	9月 (6日間)
路線測量設計課程Ⅱコース（Web講習）	富山市	10月 (5日間)
基準点測量B課程 基準点測量コース（実習なし）	富山市	10月 (7日間)

※ 講習会等については、場所あるいは時期等が変更になる場合があります。

1. 北陸支部報

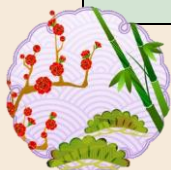
8月及び1月に本部ホームページへの掲載による刊行を行う。

2. 北陸支部通信

会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を月1回配信する。

3. ホームページ（測量情報館）のWebサイト「支部からのお知らせ」

会員への情報伝達手段として本部ホームページ内にある「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。



令和7年度 北陸支部「空間情報技術事例発表会」

空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図ることを目的として、令和7年度も「空間情報技術事例発表会」を開催します。

この発表会は、測量協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介することも目的の一つとなっていますので、北陸支部管内の技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

応募概要

1. 募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

2. 応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね40才未満の者とする。

3. 発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め20分以内とする（発表15分、質疑5分）

4. 発表日時及び場所

日時：令和7年7月8日（火）15：00～（北陸支部業務報告会に引き続き開催）

場所：石川県地場産業振興センター（金沢市）

5. 応募

(1) 発表希望者は、3月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。

(2) その後、発表の決定を受けた者は、5月末までに発表する内容の概要（要点：200～300文字）を北陸支部事務局に提出する。

(3) 発表当日の資料（別途標準様式により作成）は、事前（10日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

6. 表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

なお、発表者全員に記念品を贈呈する。

《問合せ・応募先》 公益社団法人日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町1-12-14 測量会館

TEL 076-422-3305 FAX 076-422-3403

E-mail kojima-y@jsurvey.jp 担当 小嶋



謹賀新年

昨年中は何かとお世話になり、有り難うございました
今年もよろしく願います
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

令和七年 元旦

公益社団法人
日本測量協会北陸支部
職員一同



測量CPD及び測量技術者継続教育証明制度(SUCCESS)

の登録、更新を行いましょう！

~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~

編集・発行

公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

○ 事務局 ・TEL 076 (422) 3305 ・FAX 076 (422) 3403

E-mail [hokuriku@jsurvey.jp](mailto:hokuriku@jsurvey.jp)

○ 技術センター ・TEL 076 (421) 5445 ・FAX 076 (422) 3403

E-mail [hokuriku-geo@jsurvey.jp](mailto:hokuriku-geo@jsurvey.jp)